

病院事業場、本荘・大江事業場 過半数代表者信任投票

投票期間：11月10日(金)午前9時～16日(木)午後4時まで

組合推薦の石原光浩氏 中村直子氏 を支持してください。

熊本大学で働く労働者の過半数代表者候補者信任投票が行なわれています。

過半数代表者は、就業規則の変更に関して意見を述べ、36協定に代表される労使協定の締結、労働安全衛生法に基づく衛生委員会委員の推薦などの権限等が与えられ、教職員の労働条件を決定する重要な役割をもっています。また、超勤時間、年休取得日数の情報提供を求め現状を分析し、改善に向けて大学側へ意見を述べています。

組合は、職場環境・労働条件の改善を目指し、過半数代表者を支援しています。組合推薦の候補者お二人のご支持をお願いいたします。

病院事業場 石原 光浩

医療技術部 病理技術部門 臨床検査技師

2023年度 熊本大学教職員組合医学部支部支部長

この度、病院事業場の過半数代表者選出選挙に立候補いたしました病院医療技術部病理技術部門臨床検査技師の石原光浩です。2024年度から施行される「医師の働き方改革」で時間外労働の上限規制が適応されることで就業規則などが改正されています。また、タスクシフトにより医師以外の教職員は新たな業務を行うことになり、業務の合理化に積極的に取り組んでいる一方で業務量は増加し、病院事業場の教職員を取り巻く職場環境は年々厳しい状態にあります。

労働者側にとってみれば「超過勤務せざるを得ない」状況に変わりはなく、むしろ、教職員の定数増や勤務体制の整備が、現場の意識とかけ離れているなかで、日々の業務は教職員の「がんばり」に依拠する、きわめて不安定な基盤のうえに成り立っていると言わざるを得ず、健康を守ることがおぼつかない状況でもあります。時間外労働の上限設定は必要ではあるものの、現状では、規制自体が現場の職制に責任を負わせるといっても差し支えない状況であると思われまます。皆様からの信任が得られましたならば、病院事業場で働く教職員の労働環境改善に向けた意見集約等に努めながら、他の事業場の過半数代表者と連携し、労働者の代表として労働者の権利を守り、利益を守っていきたくと考えています。

最後に、今回の選出選挙における投票をお願いするとともに、労働者の過半数の支持を得られますようにご支援を宜しく申し上げます。

有権者 熊本大学と雇用関係にある職員全員 10月1日に在職する正規職員、有期雇用職員(フルタイム・パート職員)、再雇用職員です。ただし、学長・理事・監事・非常勤講師・TA・RA・医員(パートタイム職員の大学院生)・派遣の方は除きます。

投票方法 本荘・大江事業場、病院事業場は、一部を除き Web 投票です。

熊本大学ポータル<<http://uportal.kumamoto-u.ac.jp/>>にログインし、画面左側のお知らせ欄の「過半数代表者選挙【所属の事業場】」を選択すると投票画面(voting)が表示され、投票できます。

熊本大学ポータルには個人のスマートフォンやタブレット端末からもログインできます。

本荘・大江事業場 中村 直子

技術部 生命科学系技術室 技術専門職員

2023年度 熊本大学教職員組合医学部支部副支部長

本荘・大江事業場の労働者代表として過半数代表者選挙に立候補いたします技術部生命科学系技術室(配属先:生命資源研究・支援センター)の中村直子です。

新型コロナウイルスと世界のあちこちで起きてしまっている争いの長期化、さらには気候変動の影響も加わってエネルギーや食料品などあらゆるものの価格高騰が続いています。職員の皆様の生活・教育・研究活動への支障は増すばかりではないでしょうか。

大学からの規則改正に対して、本荘・大江事業場のすべての職種の方々が、労働条件が良くなった。熊本大学で長く働きたい。と感じてくださることを目指して、事業場で働く皆様からの情報やご意見を大学へお届けします。他の事業場の過半数代表者の方々とも連携を図りながら、学生さんや地域の皆様がより魅力を感じてくださる大学となるためのお役に立てるよう尽力いたします。お忙しい中と存じますが、今回の過半数代表者選出選挙への投票をお願いするとともに、労働者の過半数の信任を得られますようご支援をよろしく申し上げます。

赤煉瓦

熊本大学教職員組合 (医学部支部版)

No. 9
2023. 11. 10

内線:5858 FAX:362-4647
m-kumiai@union.kumamoto-u.ac.jp
<http://union.kumamoto-u.ac.jp/>